

平成22年度第3回疫学研究に関する審査検討会 議事要旨

日時：平成23年2月1日（火）10：00～12：00

場所：経済産業省別館10階1014会議

参加者：

検討委員：辻座長、有田委員、小幡委員、河原委員、崎田委員、新美委員、南委員

事務局：環境保健部 佐藤部長

環境リスク評価室 戸田室長、森室長補佐、中村環境専門調査員

水・大気環境局 総務課 粕谷課長、永森係長

大気環境課 山本課長

参考人：国立環境研究所 新田氏

慶應義塾大学 朝倉氏

議事内容

（1）微小粒子状物質等大気汚染物質による肺機能発達への影響調査

- ・事務局より調査目的、調査概要、調査協力依頼文書等について説明。
- ・調査対象者数の妥当性や調査対象地域選定の考え方について確認があった。
- ・調査対象児童への説明や不同意の子供に対する配慮が必要との指摘があった。
- ・対象者の除外基準の「感染症疾患」の範囲を明確にするなど表現を適切にするよう求められた。
- ・調査説明書にPM2.5の説明と調査実施の背景をより詳しく記載すべきとの指摘があった。また、検査実施に伴う負担が少ないことを追記すべきとの指摘があった。
- ・倫理的観点からの問題は特に認められず、上記について対応することを前提として、適と判断された。

（2）その他

- ・「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」における研究計画の一部の変更内容について説明が行われ、委員持ち回りにて了承されたことが報告された。
- ・さい帯血バンクに参加を希望する者は、エコチル調査におけるさい帯血は採取しないことについて説明が行われ、他の生体試料の分析データでできる限り補う等の確認があった。
- ・遺伝子解析やバンクに関し、具体的な研究計画が作成された時点で受けた倫理審査結果に基づき必要な手順を踏むこととしているが、包括的な同意などのあり方について、倫理指針にかかる議論の動向も踏まえながら検討すべきとの意見があった。
- ・必要な財源を確保しながら、エコチル調査の当初の目的が遂行されるようにとの意見があった。

以上